



2005 ~ 2006 年度  
R I テーマ

# SERVICE Above Self 超私の奉仕

国際ロータリー会長 カール ヴィルヘルム ステンハマー (国籍・スウェーデン)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間  
TEL 23-1111  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	吉富今男	役員	会長	平野英壽	SAA	河村貴雄
"	溝部 仁	"	薬真寺章三		副会長	上妻 浩	直前会長	森 宗明
"	村津忠久				幹事	木村きぬ糸		
"	梅津ヤヨイ				会計	岩尾昭治		

VOL . 18 - 8  
2005年8月30日

## 第 788 回 例会

会報委員長 大島由美子

点 鐘 12:30  
体 操 自律神経強化体操  
R S 四つのテスト  
唱 歌 手のひらを太陽に  
B . G . M 「ハーモニカで綴る  
想い出の歌」より  
あざみの歌  
宵待草  
さくら貝の歌 他

### 出席報告

委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	26 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	5 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
出 席	欠 席 数	6 名
	出 席 率	56 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	80 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
8/9	修 正 出 席 率	92 %

連 続 - 回  
通 算 - 回 100 %

### ・メイクアップ

事前 溝部、椋田、岩尾、小川、河村 (別府東)  
事後  
欠席 大島、津末、土谷、後藤(孝)、大久保、高宮

### 会長の時間 会長 平野 英壽

今年の「24時間テレビ」(8月27日・28日放送)のテーマは...“生きる”というたった一言ですが、とても重みのある言葉でした。

「生きる」って何だろう? 「生きている」って実感したことがありますか? 放送中に各都道府県の人たちに街頭インタビューをしていくコーナーがありました。どの県のおじいちゃん、おばあちゃんも口に出して答えることは「難しい質問だなあ...でも人は一人では生きて行けない、皆で支えあって生きていかなくては」というようなことでした。

最近のニュースで、未成年者が自分の命を自ら絶ったり、他人を傷つけ、時には命まで奪ったりする事件を度々目にします。多くの人が「自分が生きている」ことを意識せずに暮らしています。しかし、“生きる”ことは簡単なことではありません。本当はつらく、厳しく、しかし大変素晴らしいことなのです。

命の大切さ“生きる”をテーマにしたこの番組を見て、改めて家族や友人と共に生きていく素晴

らしさを感じ、人の笑顔が自分の喜びになっていく事を考えさせられました。

ある、お坊さんの話になりますが、人は「生かされている」部分と「生きようとしている」部分で成り立っています。「生」つまり「生きる」とは“天意”をもっていかされ、ついで自ら生きようとする“人為”がそれを補強しているそうです。人間は“天意”と“人為”の挟間に立って生きているのです。

人は皆、病気になれば手術や薬で治療をしようと



します。それで治れば、手術や薬が治してくれたと思うのです。でも、それは自分の肉体自身が持っている自らの自然治癒力のお陰でもあるのです。

話が少しそれましたが、日本は世界一の長寿国と言われています。高齢ながら元気でいらっしゃるお年寄りの方に聞いてみますと、ある特定の健康法だけで長生きできたという方が多いみたいです。

私が思うには、長生きに必要なのは「呑気」ではないかと思うのです。そして、長生きを阻害するものの最大のもは「ストレス」にこそあるのではないかと思います。

心があつけらんかとして、天真爛漫であることが一番の健康法で長生きの秘訣ではないでしょうか。

**幹事報告**

幹事 木村きぬ糸

- 会員増強および拡大月間 -

1. 本日の卓話

『感謝の心』 吉富今男会員

2. 『事務所移転のお知らせ』

9月20日より、ロータリーの友事務所が下記の通り変更します。

旧住所：〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階

新住所：〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル4階

\* 電話・FAXに変更はありません。

(Tel 03-3436-6651/Fax 03-3436-5956)

3. R I 第2720地区『2005 - 2006年度地区大会』開催のお知らせ

開催日 2005年11月12日(土)・13日(日)

登録料 会員：7,000円 / ご家族：5,000円

**11月12日(土)大会第1日目**

第1回本会議 【会場】ウイングまつばせ

12:00~登録受付 / 13:00~点鐘

13:55~ガバナーアドレス

14:15~R I 会長代理アドレス

16:10~記念リサイタル

・記念リサイタル 財団奨学生 大島 博氏

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会並びに希望懇親会

〔登録料〕会員・ご家族：8,000円

特別参加者：5,000円

18:00~開宴

**11月13日(日)大会第2日目**

第2回本会議 【会場】ウイングまつばせ

9:00~登録受付・点鐘

10:00~記念講演

12:00~R I 会長大会所感

・記念講演「身近な生活大爆笑

~みんなで担おう、福祉の町~」

弁護士 三瀬 顕氏

詳細ご希望の方は、幹事または事務局までお申し出下さい。

4. R I 第2720地区『第21回ローターアクト年次大会』のお知らせ

日時 平成17年10月8日(土)~10月9日(日)

**1日目** 13:00~受付

14:00~16:00~会長幹事会

18:30~懇親会

21:00~2次会

**2日目** 9:00~メインプログラム

12:00~閉会式

場所 交通センターホテル(熊本市桜町3-10)

テーマ 「Activate ~ボウケンセヨ~」

詳細ご希望の方は、幹事または事務局までお申し出下さい

5. 例会変更のお知らせ

別府東RC 9月8日(木)の例会は、ゲストを招いての例会の為 同日18:30~別府ホテル清風に時間・場所変更

大分1985RC 9月12日(月)の例会は、野外家族例会の為 9月17日(土)12:30~しあわせの丘に開催日・場所変更

大分城西RC 9月14日(水)の例会は、全員協議会(クラブ協議会)の為 同日18:30~大分全日空ホテルオアシスタワーに時間変更

大分キャピタルRC 9月14日(水)の例会は、職場訪問例会の為 同日12:30~医療法人善和会介護老人保健施設 medicare大分南に場所変更

宇佐RC 9月15日(木)の例会は、親睦観月例会の為 同日19:00~安心院葡萄酒工房に時間・場所変更

6. 次週の予定  
「会員卓話」 森 宗明会員

7. 本日の回覧  
大分県産婦人科医会より「おぎゃー献金運動」募金箱

R I 第2560地区より「新潟県中越大震災復興支援活動の記録」



「R I 第2720地区2005-2006年度地区大会」  
(11月12・13日)登録申込み

「第22回別府近隣7RC親睦ソフトボール大会」(10月10日(月・祝))出・欠席  
「月見例会」(9月27日例会)出・欠席  
くにさきRC 週報

8. 本日の配布

週報787号

「R I 第2720地区2005-2006年度地区大会」  
案内パンフレット

「社会奉仕について」

鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス 委員長 梅津ヤヨイ

曹友会

夕涼例会で曹友会(自衛隊)の皆様よりスマイルいただきました。

平野会長

来週夏休みでロータリーも休みです。副会長上妻会員よろしくお願い致します。

クラブ奉仕委員会が熊本であります。幹事木村会員、上妻会員、出席よろしく申し上げます。

吉富会員さん卓話どうぞ頑張ってください。よろしくお願い致します。

上妻会員

吉富会員、本日の卓話よろしく申し上げます。木村会員

今日の卓話、吉富さんの話、楽しみです。頑張ってください。

夏休みもいよいよ明日で終わり。朝夕少し涼しくなった気がします。夏の疲れが出ぬよう心をひきしめて。

鳴海会員

本日は出席者が少ないようですが、吉富さん、卓話頑張ってください。

孫が花火で軽いやけどをしましたが、少し気になります。なるべく早く治したいと思っています。2週間以内であればあまり跡になりません。

葉真寺会員

毎年、8月は平和の重要さを意識しますが、特に今年は強く意識し始めています。世界の動きと日本の置かれた状況が少し気になっています。

森会員

昨夜、テレビで広島原爆の番組をみました。ほんの60年前の事です。涙が出ました。仕事

をしていると、いろいろ苦勞はありますが取り合えず命にかかわる事はありません。平和に暮らせる毎日に感謝です。

村津会員

男声合唱団ロータリーコールの、市民合唱際出演に向けての練習が、先週から始まりました。練習日は毎週月曜日の夜7時半から9時まで、西法寺の中央幼稚園の2階で行われています。現在、わがクラブからは、上妻会員と私の二人です。男声会員のみなさん、奮って御参加下さい。上妻会員が私に声を掛けて下さい。お願いのスマイル。

後藤(隆)会員

今日は出席が少なくてさみしいですね。吉富さん、元気のでる卓話で盛り上げて下さい。

吉富会員

会員の皆様の貴重な時間が無駄にならない様、卓話頑張ってください。よろしくお願いします。

近藤会員

盆が過ぎやっと涼しくなってきました。趣味のゴルフも長い夏休みを終え9月から頑張ろうと思います。別府中央ロータリークラブの皆様、また誘ってください。

衛藤会員

朝夕の陽射優しく8月尽

目にはさやかに見えねども朝夕は凌ぎやすくなりました。でも街中では9月11日まで暑いようです。吉富会員の卓話楽しみにしています。

赤嶺会員

今日8月29日ハン流ブームを巻き起こしたヨン様のお誕生日！母は朝から来日の様子をTVにくぎづけで見っていました。明後日の埼玉アリーナのヨン様のコンサートに行きます。今から肌の調子を整えマニキュアは何を塗ろうかと恋をしている様な母の姿を見ていると、何ともかわいらしく感じた今日この頃でした。子供達との最後の日曜日、私も子供達と泣き泣きで24時間テレビを見ました。とても意味のある一日でした。

梅津会員

8月も終わりました。今月も多沢の「スマイル」ありがとうございました。2、3日前、裏の庭でちょっと下駄をはいていて転び、脚(あし)が腫れていますが、頑張ってください。ロータリーに来ました。来月もスマイル頑張ります。お願い致します。



## 感謝の心

過去の経験や体験から、これまでにいろいろと多くの、楽しかった事、嬉しかった事、苦しかった事、悲しかった事など、私の記憶から消せない出来事の中から、長男と体験した事を語りたいと思います。

長男は昭和49年2月13日生まれ、早産で1980g、生後40日間は保育器のお世話になり2600gで退院する事ができました。その後、標準とはいえないまでも、若干の小ぶり程度で幼稚園、小学校へと平凡だけ人並みに成長している小学校4年生の時の出来事でした。

昭和58年5月3日の世間ではゴールデンウィークでパカンスを満喫する人で満ち溢れている時、我が家においても、長男と半年前に誕生した長女を連れて家族4人、地元の実業地に向かいました。乗り物に乗り楽しんでいた長男が「おとうさん！鼻血が出た」と洋服を血で染めて私の元へ。人の多さから、単なるのぼせかなあ、と思いながら止血しようとして努力が止まらない。20～30分経った頃、氷で冷やしたりした処置でやっと出血は止まり、遊園地を後にそのまま帰宅して翌日にかかりつけの小児科で診察してもらった。

小児科の先生は、厄介な病気と思われる。紹介状を書きますので連休明けにでも病院で精密検査を受けて下さい。との指示があり早速紹介された病院で検査を受けた結果、国指定の難病（特定疾患）23に指定されている、突発性血小板減少性紫斑病と診断され、即日入院となりました。（ちなみに現在の難病情報センターの情報では特定疾患は121となっている。）

難病情報センターの特定疾患情報によると、突発性血小板減少性紫斑病とは、明らかな基礎疾患、原因薬剤の関与無く発症し、血小板数が減少する為、種々の出血症状をひき起こす病気のことをいい、急性型は小児に多く慢性型は成人に多い傾向にあるとの事です。

長男の闘病生活が始まる入院時の血小板数は8000、健常者の血小板数は20万～40万という数値だそうで、血小板数が3万をきると出血しても止まりにくい状態になるといい、血小板の寿命も健常者に比べて短くなり、1～5日程度の寿命しかないそうであるが健常者の場合は9～12日の寿命があるとの事でした。

長男の治療には、毎日血小板の点滴と、副腎皮質ステロイドが使われ、血小板数や症状をみながら、徐々に減量して治療をしていくと医師からの説明を受けた。

入院してからも、毎日変化なしの出血があり、3～4ヶ月の入院生活でもなかなか好転しない日々が続く、薬の副作用による、おたふく風邪のように真ん丸く腫れ上がった長男の顔。

長男も毎日の様に鼻から出る血や、目に見えて治療結果が好転してこない身体に、病気に対する不安と前向きに生きる事への気持ちや態度が感じられないようになってきた矢先に、ポツンと（お父さん！僕死ぬんかなあ？）と問いかけられて、

とっさに励ます為の言葉が思いつかずに、いくら出血しても新しい血液をどんどん体内に入れてもらえるように先生に頼んでいるから大丈夫と苦し紛れにいった言葉が今も思い浮かぶ。

しかし毎日の瞬間瞬間を病魔と闘っている長男にも、本当に運を天に任さなければならぬ日が訪れた。生きる自信をなくしかけている長男に、出血を見せまいと止血クリームをつけた鼻栓をする処置をしてもらったが、出血は目にも見えないが、飲み込んで胃にたまったその血を洗面器一杯吐き、吐いた後は顔面蒼白になり、息遣いも荒く苦しむという繰り返しが続く中、新たな病気を併発した。

病名は水疱瘡。

全身が水ぶくれで血が混ざっている。息子さんがかきむしらないようにして下さい。体中から出血すれば手の施しようがないからと「お父さん！ここ数日が峠ですね」と医師にいわれて、長男は病氣と闘っているが、我々家族は長男との永久の別れが来るかもしれない覚悟もおかない。この世に生を受けて、まだ9年余しか生きていない幼い命を助けたいがどうする事もできず、長男には生と死の点滅のシグナルが...

これでもかと不幸は容赦なく又襲ってきた。何も悪い事した覚えは無いのに。家族4人が病院で寝泊りする中、昭和57年11月24日生まれの長女が原因不明の高熱を急に出し、もみじのような小さな手にも点滴がされ、2人の子供は入院、親は子供1人ずつに付き添うという異常な日々が3～4日続いた。

やがて、長女の熱は下がり、長男の水疱瘡もその後治まってきた。あの頃を思えば、この世の不幸を全て我々家族が背負っているのではと思ったりもした時期があった。不幸続きに見かねた友人たちが、お参り所や、除霊をするところなどにはその事をアドバイスしてくれる。

事情があって引越した直後、東より西の方角が良いよと言えば西に引越したりもした。長男の病氣も6ヶ月が経過した頃から、徐々に血小板数の増加が見られるようになり、入院時8000しかなかった血小板数も13万位に増加してめでたく退院する事ができた。大量の輸血、点滴治療をされた長男の身体も大きな体質変化もみられず、そばアレルギー程度の後遺症だけで済んだ。その後は大病する事も無く、高校、鹿児島大学、卒業後は流通大手に就職をして課長として現在頑張っている。福岡近郊に新築をして、4歳になった孫を含む3人家族で明るい家庭を築いている。

尚、生後6ヶ月で点滴された長女も、岡山に嫁ぎ今月元気な女の子を出産して孫を1人増やしてくれた。人の運命とはいえ、長男の命を消さないで尽くしてくれた医師の皆様をはじめ一番苦しい時に励ましてくれた人たちへの感謝は一生忘れない。

人間限りある命の中で、周りの皆さんのおかげで生かされていること、そして人の傷みがわかる人間になる為の努力を生涯の課題として、何事にも感謝の気持ちを持ち合わせた人間として磨きをかけたいものである。

## 「南無阿弥陀仏」

夏休みの南立石公園で、蝉捕りや川えび釣りの子供達を見る度に、小学生の頃の私の姿がオーバーラップして見えます。私の生まれ育った中国河北省天津市日本組界にも、公園が一つありました。別府公園くらいの広さの中に、総領事館と警察と天津神社と大和公園があって、元々平坦な所ですが、人工の築山の上に天津神社を造り、その続きの斜面と平地の池周辺が公園で、祖父たちの苦勞で、たくさん樹木が茂っていました。

「夏休み」に宿題は付きもので、「夏休みの友」とは別に、

4年生の時は植物標本、5年生の事が「昆虫採集と標本づくり」でした。

シオカラトンボ、赤トンボ、オニヤンマ、ギンヤンマ、各種の蝶類、バッタ類など。捕虫網で捕るのはスポーツ感覚で面白いのですが、その後、ホルマリンを注射して殺すのは可哀相で厭な手仕事でした。特にバッタ類は注射の直後、口から黒い吐物を出します。思わず眼を瞑って「南無阿弥陀仏・南無阿弥陀仏」。

今でも、トンボや蝶々を見ると、つい「南無阿弥陀仏・南無阿弥陀仏」。